

2020年6月1日

各位
プレスリリース

株式会社農業総合研究所

東京加工センター移転のお知らせ

センター機能の拡充により流通総額拡大を加速

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げる株式会社農業総合研究所（以下、当社）は、農産物加工センターの機能拡充と利便性の向上を目的に東京加工センター（東京都大田区）を移転いたします。

■移転のポイント

- ✓ 24時間の荷受け対応
- ✓ 加工作業の増加に対応するための十分なスペースを確保
- ✓ 既存の流通網とネットワークを活かすことで外部の加工業務も受託
- ✓ 青果仲卸業者との共同仕入れによる遠地からの物流コストを削減



■目的と背景

2018年11月5日、当社の大田センター近くに東京加工センターを開設いたしました。生産者が行っている加工作業の受託と外部委託していた加工業務を内製化することにより、中・大規模生産者からの集荷拡大を狙い、物量の増加と安定化、調達の効率化、取引先（店舗）の拡大を図ってまいりました。この度、増加する農産物の出荷量と加工業務への対応、利便性の向上を目的に、東京加工センターを移転することにいたしました。新センターでは、これまでの約2倍となる日量30,000パックの加工業務が可能になります。今後は、既存の流通網とネットワークを活かし外部からの加工業務も受託することで、さらなる取扱規模の拡大を狙います。また、青果仲卸業者との協業（共同仕入）により、遠地からの物流の効率化やコストの削減を実現します。

■移転後の東京加工センターの概要

- ◆ 移転日：2020年6月1日（月）
- ◆ 移転場所：東京都大田区京浜島 1-4-3
- ◆ 取扱規模（加工数量）：日量約 30,000 パック（約 2 倍増）



■会社概要

株式会社 農業総合研究所 JPX 証券コード 3541

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、日本及び世界から農業が無くならない仕組みを構築することを目的とした農業ベンチャー。全国約 9,000 名の生産者と都市部を中心とした約 1,500 店舗の小売店を IT でダイレクトに繋ぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築することにより、これまでになかった新しい農産物流通システムを展開。

以上